Crescendo
クレッシェンド
MINORI CHIHARA
1ST PHOTOGRAPH COLLECTION


Crescendo
クレッシェンド
MINORI CHIHARA
1ST PHOTOGRAPH COLLECTION


Cantabile










































蝴蝶网
hudie.com


VOICE Newtype
No.
032





VOICE Newtype No.032

Minori's WORD

まさか私がボイスニュータイプさんの表紙に登場する日が来るなんて想像もしていなかったので、とてもうれしかったです！　発売された後は、お友達からよくメールが来ました。「本屋さんに行ったら、みのりんがいた」って(笑)。私も本屋さんで発見したときに「おぉっ！！」と不思議な気持ちになりました。

関山一也／撮影
CHICA／ヘアメイク
北川幸江(Q's)／スタイリスト







VOICE Newtype
No.
026





Minori's WORD

「純白サンクチュアリィ」のジャケットと同じスタジオでの撮影だったので、懐かしい気持ちになりました。時期的には初めてのライブツアーを終えた後でしたね。わからないことだらけだったし、バンドメンバーと一緒にライブを作り上げていくというのも初めての経験だったので、今思えば唄うことに必死だったと思います。

関山一也／撮影
中島さつき／ヘアメイク





VOICE Newtype No.029

Minori's WORD

シングルでは「Paradise Lost」、アルバムでは「Parade」とリリースが立て続けにあり、内容の濃い時期でした。最近のことのようで、1年も前になるんですよね〜。そう思うとびっくりです！「Paradise Lost」は、みんなとひとつになれる喜びを私に教えてくれました。これからも大切に唄っていきたいです。

関山一也／撮影
中島さつき／ヘアメイク









女の子には秘密があるんです♪



日記帳

これは日々の中で「うわーっ!?」というハプニングがあったときに書く日記帳です。特別なものなので中は誰にも見せられません！

ポラロイド写真

デビューしてから、雑誌の取材などで撮るポラロイドの残りを持ち帰ってきては、ずっと集めています。

ずっと大事にとってあります♪

いろいろ励まされてきました♪



尾崎豊アルバム・B'zライブビデオ

10代のころから支えられている尾崎豊のCDと、B'zのライブビデオ。ビデオはもう、テープが擦り切れるほど見ています。

使い慣れたものが一番ですね♪



テープレコーダー

歌やお芝居を録音して確認するために買いました。ICレコーダーも持っていますけど、いまだにこっちを使ってしまいます。



おうちではメガネ愛用です！



メガネ

最近、新しいメガネを購入しました。それをブログで書いたら、お店から「ありがとうございます」とお礼の手紙をいただいてしまいました。

楽器屋さんでひと目ぼれ♥

ギター

私にとっては高価なギターでしたが、自分へのご褒美と思って買いました。今でもひらめくと、この子で曲を作ります。

小久保淳平サイン色紙

アーティストの小久保淳平さんのサインです。何もかもが上手くいかず、挫折していたときに「道標」という歌に助けてもらったのがきっかけで、ファンになりました。

直筆のサインは力になります

家族の写真

私の家族です。姪っ子も一緒！家族の支えなしでは、今の私はここにいません。とても大切な存在です。



電子辞書

アフレコ現場に行くと、みんな電子辞書をかっこよくパッと開いて調べるんですね。私も現場には必ず持って行きます！

お仕事のパートナーです！



とても大事な、一番の味方！

Calmando












蝴蝶网
hudie.com
「http://bbs.minina.cn
搜集并提供免费下载」
























TRADE S MARK


VOICE Newtype
No.
027



「Mino… WORD」

「雨上がりの花よ咲け」の取材ですね。撮影は５月ごろだったのかな？　この曲は私からみんなへの応援歌で、こんなに素直に自分の気持ちを唄えるシングルは初めてでした。ランティスさんの特設サイトで、ドキュメンタリームービーを随時更新したり、私の気持ちがみんなに届くようにと願っていました。

関山一也／撮影
中島さつき／ヘアメイク





VOICE Newtype
No.
023

VOICE Newtype No.023

Minori's WORD

スタジオに置いてあるウクレレで遊んだのを覚えています!! この写真は一時期、アーティスト写真としても使っていたくらい、お気に入りのものでした。アルバム「Contact」を制作して、音楽活動もどんどん活発になっていく中でひとつひとつの仕事に対して、“ちゃんと応えていかなければいけない……”というプレッシャーもどんどん大きくなっていきました。

能美潤一郎 (Femt) ／撮影
中島さつき ／ヘアメイク











Minori's WORD

雨の日の撮影というのはあまりないんですけど、景色も美しくてノリノリでしたね（笑）。この直後に「君がくれたあの日」の発売記念キャンペーンがありました。機会があったらまたぜひやりたいですね。みんなからお手紙やメール、ブログなどを通して感想を聞くことはできるけれど、やっぱり直接顔を見てお話できる時間は特別なので……。

yossy／撮影
中島さつき／ヘアメイク



Review

茅原実里の歴史です！　本当に懐かしい限りです。
まるで自分の子供のころの写真を見ているみたい（笑）。
でも、まったく変化がないよりは、あったほうがおもしろいよね？
こんな時代もあったんですよ‼



VOICE Newtype No. 012



VOICE Newtype No. 009

VOICE Newtype No. 007





VOICE Newtype No. 014







VOICE Newtype No. 013









VOICE Newtype
No.
015





VOICE Newtype
No.
017







VOICE Newtype
No.
016



Consolante








蝴蝶网
hudie.com


蝴蝶网
hudie.com















VOICE Newtype
No.
028














LIVE



VOICE Newtype No.028

Minori's WORD

木登りは楽しかったですね。実は結構、高さがあって足がプルプルしていたんですけどね……。バーベキューは完全に仕事という意識ではなかったです（笑）。ご飯って、家の中で食べるよりも大自然の中で食べるほうが、おいしいですよネ！子供のころはよくご飯を外に持っていって、お母さんに怒られました（笑）。

関山一也／撮影
中島さつき、小菅美穂子／ヘアメイク



VOICE Newtype
No.
018







VOICE Newtype No.018

Minori's WORD

夕焼け空の中で、落ち葉の上に寝転がったりして、ちょっとドラマチックな撮影でした。「純白サンクチュアリィ」で歌手活動を再開するときのグラビアで、とにかく懐かしいですね。真っ白な気持ちで、歌が唄える喜びを感じていました。本当にうれしかったなぁ……。





VOICE Newtype
No.
032



どれも表紙、巻頭特集をしていただいたときの写真です。春先だったので、外での撮影は少しだけ寒かったです。でも撮影が始まっちゃうとあまり暑さや寒さは関係なくなっちゃいますね。特に芝生の上に寝っころがったり、自然の中で遊べる撮影は大好きです！いつか、動物と戯れる写真も撮ってみたいんですけど、実現はなかなか難しいみたいです。

関山一也／撮影
CHICA／ヘアメイク
北川幸江(Q's)／スタイリスト


VOICE Newtype
No.
025



VOICE Newtype No.025

Minori's WORD

これ、光の加減がすごくきれいで大好きなんです！　この号のインタビューは「Contact」ツアーの初日を終えた直後で、「ライブ中、気づいたら着ていた衣装のベルトが外れて落ちちゃったんですよ～！」なんて話で盛り上がっていたんですよね。トラブルも含めてライブはハラハラドキドキするな～って思ってました。何事も経験ですよネ！（笑）　今は逆にトラブルを楽しめるようになりました。

yossy／撮影
OTHSSAN(kind)／ヘアメイク


VOICE Newtype
No.
030
FOR YOU



VOICE Newtype No.030

Minori's WORD

この撮影の後に台湾に行ったんですよね。こんなに懐かしいのに、まだ１年も経ってないんだ!? アニメのイベント以外で、まさか海外でお仕事をさせてもらえるチャンスがやってくるなんて、感激でした!! ステージでは、演出で用意されていたシャボン玉を食べてしまい、一瞬むせるという出来事もあったっけ！（笑） 台湾のみなさんと触れ合えてうれしかったし、夜市に行って大きなカキ氷を食べたのはいい思い出です。

関山一也／撮影
中島さつき／ヘアメイク




Coraggio!







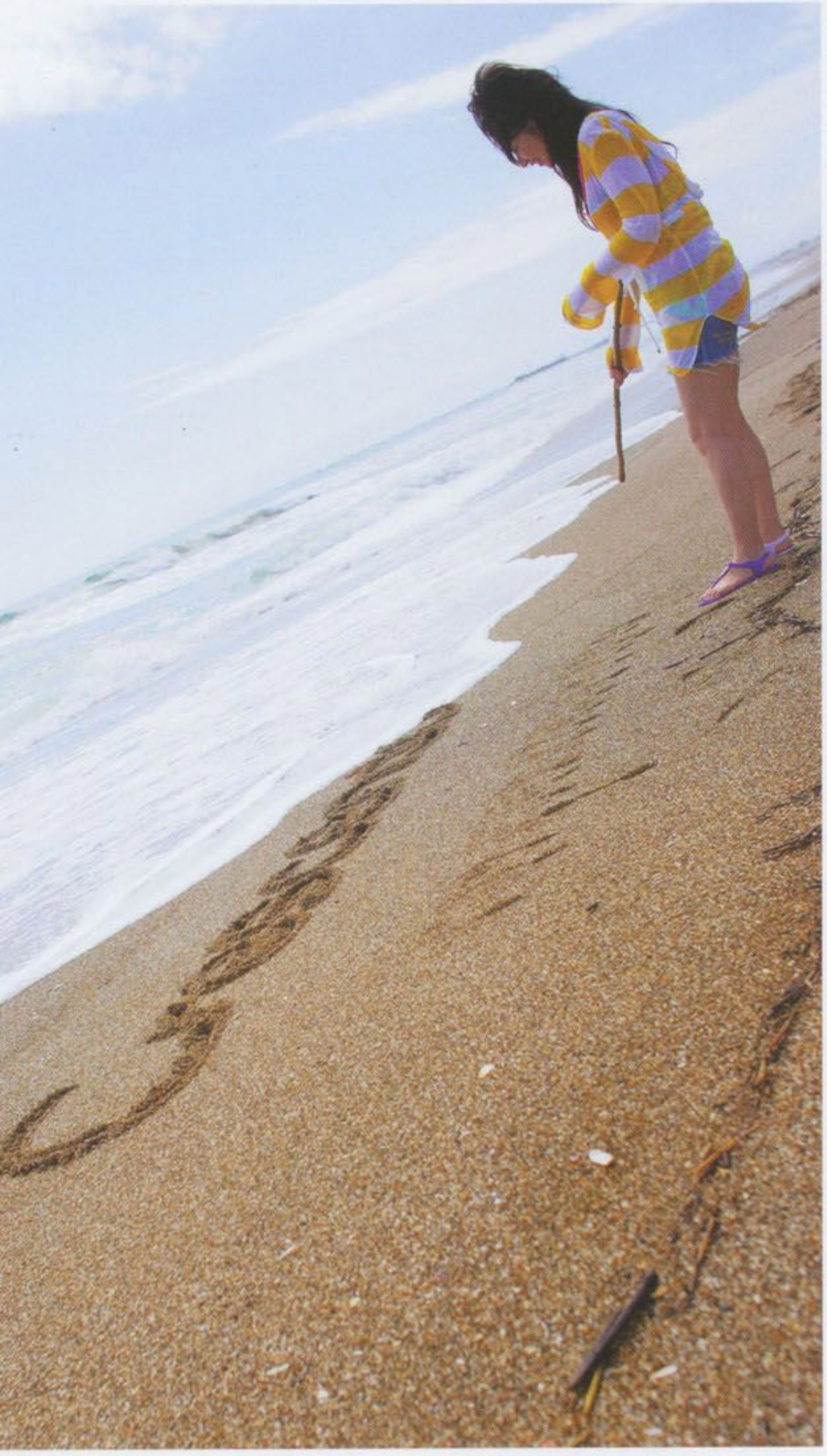


















これまで、茅原実里が歩んできた道を振り返ってのお話をさせていただくということで……、まずは幼いころのことから？　そこまでさかのぼりますか!?（笑）

栃木県宇都宮市で生まれた私は、すごく内気な子でしたね。人前に出るのが苦手で、人と話すのもあまり上手じゃなくて、おもしろくない子だったと思うんです。でも、やんちゃなところもあって、ケガの絶えない日々でもありました。「内気な負けず嫌い」という感じですかね？　親にもいろいろ心配をかけましたけど、基本的に大人の言うことを聞く子供だったので、学校には真面目に通っていました。

そのころは絵を描くのが好きで、小学４年生くらいから友達と交換漫画を始めたんです。最初はノートに描いていて、そのうち物足りなくなって本格的に材料をそろえて原稿用紙に描くようになり、いつしか当時読んでいた少女漫画雑誌でデビューしたい!!と漫画家をめざすようになっていました。中学３年間は必死で漫画を描き続けて、進路相談でも「私、漫画家になります」なんて言ったりしていましたね。ちなみに、当時使っていたペンネームは「紅みゆな」です（笑）。

それで、やっとの思いで描きあげた一作を、漫画コンクールに応募したんですよ。「これで私、デビューできる！」って。そうしたら「紅みゆな」の名前は落選の欄にあって、「まさか!?　そんなバカな！」もう、茫然自失ですよ。どれだけ自信があったんだ？という感じなんですけど（笑）。それからしばらくふさぎこんで、漫画を封印することにして、受験勉強を始めました。それが中３のとき。勉強するには遅いですけど（笑）。

高校に入ってからは、自分の将来がまったく見えなくなりましたね。漫画しか描いてなかったから、夢を失ってしまって、心にポッカリ穴があいてしまっているような感じでした。自分が何をしたいのかわからなくなって、ちょっとそこから抜け出したいなあと考えていたときに、漠然と出てきた夢が「歌」だったんです。歌を唄うことは小さいころから好きだったし、いろいろ考えてみても、それしか見つからなかった。そんなときに文化祭のカラオケ大会に出なきゃいけなくなりまして、これがなんと優勝してしまったんですよ！　まあ、学校内のことではありますが、それでも自分が何かで一番になることなんてそれまでなかったので、うれしかったですねぇ〜。しかも、唄った後に他のクラスの子が「あなたの歌を聴いてとても感動しました！」って、わざわざ言いに来てくれたんです!!　自分の歌を聴いて、そんなふうに言ってくれる人がいるなんて……と、純粋に感動しました。それが歌手を志す決め手になりました。あの言葉がなかったら、そこまで歌手というものに魅力を感じていなかったかもしれないです。

それからというもの、オーディション三昧の日々ですよ。毎月オーディション雑誌を買ってきて応募してみたり、デモテープを作ってはいろんな芸能プロダクションやレコード会社に送ったり、配りまくったり……。「いいところまでいったけどダメだった」なんて経験も、何度もありました。

そんなことを繰り返しながら10代の終わりに、アルバイトをしてお金を貯めて、ひとり暮らしを始めました。家の近くのスタジオでデモテープを作って、オーディションに応募して、カラオケに行っては歌の練習をして……。やれる限りのことはやっていたつもりですが、デビューの機会は巡ってきませんでした。そこで「このままじゃいけない！」と思って、養成所に入ることを決意したんです。その養成所が、エイベックス・アーティストアカデミーでした。

入ったときはボーカル専攻のコースでした。歌についていろいろ学んで、経験も積ませてもらったんですけど、あっという間に時は流れて、チャンスを手にすることができないまま卒業の時期が近づいてきたんですね。そんなときに、声優タレントコースができるという話があって、ある日スタッフの方から、「茅原は声も個性的だし、キャラクターもおもしろいから、声優の勉強をしてみたらどうだ？」とアドバイスをもらったんです。しばらく悩んでいたのですが、「それが未来の可能性につながるなら！」と、最終的に挑戦してみることに決めました。そこからやっと「声優・茅原実里」としての道がスタートしたわけです。



声優の勉強を始めたばかりのころは、もちろんわからないことだらけでしたが、國府田マリ子さんのラジオ番組にアシスタントで出演させてもらったり、「アイドル雀士R　雀ぐる★プロジェクト」というゲームでシステムボイスや、エンディングテーマを唄わせてもらったり、貴重な経験をさせてもらえていたと思います。そして数年が経ち、「次のオーディションがダメだったら、養成所を辞めてまた一から自分の人生を考えます」という決意で受けたのが、アニメ「天上天下」のオーディション。これに受かったときは、自分でも本当にびっくりでしたね。

こうして声優デビューをしたわけですが、「天上天下」の現場で感じたのは、声優のお仕事はなんておもしろくて、難しくて、不思議な世界なんだろうという衝撃でした。それと同時に、自分のお芝居のレベルの低さを痛感して、もう毎週というか、毎日のようにへこんでいましたよ……。そんなときに、國府田マリ子さんの音楽プロデュースをしていた方から「もしよければCDを一緒に作りませんか？」というお話をいただいたんです。それで完成したのが「HEROINE」という初めてのアルバムで、長年の自分の夢が叶いました。今でも大切な大切な1枚です。制作も楽しかったし、本当にいい曲ばかりなんですよ。

翌年には「天上天下」と「サムライガン」のカップリングでシングルを出しました。茅原実里名義のCDだったので、これも特別な思いがあり、うれしかったです。でも、そこからですよ……。声優としてお仕事がなかなかいただけなくて、音楽活動も途絶えてしまうという、とてもつらく苦しい時期がやってきました。ホームページはあるのに仕事の報告はできないし、イベントを開いても楽曲のバリエーションが増えない……。そこで、試行錯誤をしながらギターの勉強を始めたんです。もともと、お父さんの影響で、フォークソングが好きでよく聴いていたし、ギターを弾くこと自体に興味がありました。それに、自分で曲を作って自分の想いを唄えるなんて、想像するだけでおもしろそうだし、茅原実里という人間を知ってもらうには、いいチャンスだと思っていました。それで、曲を作れるようになってからは、路上に繰り出して……という時代ですね。今思い返してみると、路上ライブは楽しかったなあ～。だって、何もかもが自由なんだもん(笑)。

ちょうど、最後に路上ライブがあったくらいの時期に「涼宮ハルヒの憂鬱」がスタートしているんですよね。この作品に出演させてもらったことが、すべて今につながっています。長門有希という難しいキャラクターを演じたことで役の幅も広がりましたし、現在の音楽プロデューサーの斎藤さんに出会ったのもこのときですし、有希のキャラクターソング「雪、無音、窓辺にて。」が茅原実里の今の音楽の基盤になっているといってもおかしくないですからね。ここからの流れはまさにノンストップという感じで、ついに「純白サンクチュアリィ」というシングルで歌手活動を再開できることになりました！　みんなに報告させてもらったのは、2006年のバースデーライブのときでしたね。ずっと私を支えてくれたみんなに、応えきれずにいた悔しさやもどかしさがあったから、こういううれしい報告を直接みんなに言えたことで、本当に胸がいっぱいになりました……。

だから今、私は幸せですよね。もちろん、日々の中ではいろいろなことがありますけど、そういう「いろいろ」もひっくるめて「自分のお芝居や歌を通して喜んでくれるみんながいる」というこの現実は、幸せ以外の何ものでもないんです。

声優のお仕事に関しては、これはもう運命によるものだから、巡り会えたキャラクターをしっかりと演じていけば、きっと次につながるはずだという、そのスタンスはずっと変わらないと思います。歌に関しては……、最近ちょっとした変化があったんですよ。「もっとアニソンを唄いたい！」という強い気持ちが芽生えました。きっかけは私が初めて唄わせてもらった、アニメの主題歌、「喰霊-零-」の「Paradise Lost」です。ライブで唄うたびに、とても大きなパワーが生まれる楽曲なんですが、それは自分ひとりの力では無理で、アニメの世界観と、歌の力と、みんなの想いや愛が合わさって生まれるもの。そんなアニソンを唄うことが可能なフィールドに自分がいるのなら、もっと唄っていきたいと思うようになりました。

そのためにも努力をしていこうと、超ポジティブになっている今日このごろです。声優のお仕事も、歌のお仕事も「今のままでいい」とは絶対に思いたくないので、まさに「Crescendo」な気持ちで頑張っていきますよ！


どうもありがとう♥



Starring
茅原実里

Photographer (P01～19、34～49、60～71、84～96 ※)
関山一也

Photographer Assistant (※)
大森文暁
鈴木梯絵

Hair & Make-up (※)
CHICA

Styling (※)
北川幸江 (Q's)

Interview & Text
仲上佳克

Artist Management
瀬野大介 (avex Planning & Development Inc.)
佐々木真理英 (avex Planning & Development Inc.)

Art Direction & Design
今井淳子 (C&S Design)

Editor
榎本郁子
田島寛子
梶井 斉
吉本隆彦
北澤史織

Executive Producer
青木義人 (avex Planning & Development Inc.)

Produced By
avex Planning & Development Inc.
VOICE Newtype 編集部

茅原実里ファースト写真集
Crescendo

2009年10月23日 初版発行

発行者
井上伸一郎

発行
株式会社 角川書店
〒102-8078 東京都千代田区富士見 2-13-3
03-3238-8713 (編集)

発売
株式会社 角川グループパブリッシング
〒102-8177 東京都千代田区富士見 2-13-3
03-3238-8521 (営業)

印刷・製本
大日本印刷株式会社

http://www.kadokawa.co.jp/

ISBN 978-4-04-854369-9 C0076

84048543699

20076019005

BN978-4-04-854369-9
076 ¥1900E

価：本体1900円（税別）
行：角川書店

